

集落のリデザインワークショップ(ルアンパバーン)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年02月22日 ～2023年03月01日	ラオス	スパースウォン大学 ラオス国立大学	・建築学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生15名、学生バイト2名、 教員1名 (スパースウォン大学) 学生5名、教員8名 (ラオス国立大学) 教員1名	清水 郁郎(建築学科)



図1 炊事棟の改修作業を終えて、村人、現地大学生・教員と一緒に記念撮影

ルアンパバーン郊外のルー族の村で、伝統的民家の改修作業を主とするワークショップを実施した。実際に、炊事棟と民家の改修に参加し、現地の人々と大学生との協働を通じて、現地社会の活性化に寄与した。ほかに、伝統的な木造寺院の実測、結婚式への参加、改修を祝う伝統儀礼、船運しか移動手段のない村へのポートトリップ、それに世界遺産都市の寺院や住居群の巡検により、保存や活用の仕方に関する知見を深めた。



図2
ルアンパバーンの王朝に朝貢していた土器作りの村を訪問



図3
現在では希少な木造仏教寺院を全員で協力して実測した



図4
伝統的民家が多く残る村で、スケッチ大会を開催した



図5
民家の改修作業はかなり大がかりだったが、全員で協力して完遂した。



図6
改修作業を映像で記録をするTA学生諸君



図7
改修後には、改修した民家の住民に幸福が訪れるように祈る伝統的な儀礼に参加した